

空手で楽しく汗を流す

## 高見空手下波道場

### 「宇和海地域を元気に」 熱い思いを拳に込めて



高見空手下波道場は、基本を重視し、厳しくも楽しく空手を学べる、アットホームな空手道場です。平成8年に遊子地区で発足した「極真会館愛媛県支部宇和海同好会」を前身とし、平成10年に下波地区へ道場を移転後、平成16年から現在の名称で活動しています。

また日頃は稽古で汗を流しながら「ふるさとだんだん祭り」などの地元イベントにも積極的に参加し、地域を盛り上げてきました。創設者で師範の真田一治さんは「生まれ育った結出を含む宇和海地域を、空手を通じて元気にしたい」と話します。昨年の結出小学校最後の学習発表会でも子どもたちと一緒に演武を披露し、会に花を添えました。

しかし宇和海地域を含め宇和島市の人口はどんどん減っていて、真田さんも地域の未来を危惧しています。それでも「体力がある限り空手を続け、自分たちの演武を見て空手をやってみたいと思う人を増やしたい。それが地域を元気にすることにつながるはず」と力強く話してくれました。道場生一同、これからも地域への熱い思いを拳に込めて鍛錬を続けます。